

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立 志木第三 小学校 第 5 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	<p>○平均正答率は県・市を約3%上回っている。</p> <p>○教科の領域では「話す・聞く・書く・読む・言語事項」とともに、県や市の平均正答率を上回った。</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりする力が身についている。</p> <p>○登場人物の関係を読み取ったり、心情を読み取ることができる児童が多い。</p>	<p>○記述式の問題を苦手とし、平均正答率は県や市よりも下回っている。</p> <p>○目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書くことに課題があり、無回答率も2割以上と高い。</p> <p>○評価の観点では「話す・聞く能力」が県の平均を下回った。</p> <p>○話の内容を聞き取り要点をまとめることを苦手としている。</p>	<p>○段落構成を考えて書く力をつける。</p> <p>○書く活動を意識した年間指導計画の作成をする。</p> <p>○各学年の「書くことの学習」の系統性を考慮して指導する。</p> <p>○授業以外での書く活動を多く取り入れる。</p> <p>○メモを取りながら話を聞き、要点をまとめる活動を行う。</p> <p>○ノートに自分の考えをまとめるときは、なぜそう思ったのかという根拠についても記入させる。</p>
算数 数学	<p>○平均正答率は県・市を約3%上回っている。</p> <p>○教科の領域では「数と計算、量と測定、図形、数量関係」とともに、県と市を上回った。特に「量と測定」については全ての問題について県の平均正答率を上回った。</p>	<p>○小数の加法、減法の計算を苦手としている。</p> <p>○数の求め方を、式や言葉を用いて説明する問題の正答率が低い。また無回答率も約2割と高い。これは日常から、自分の考えや計算の仕方を説明する習慣が身につけていないことが考えられる。</p> <p>○複数の式を()を用いて1つの式に表す方法を考えることが苦手である。</p>	<p>○自分の考えを個人や全体に発表し、説明する活動を多く取り入れる。聞き合う場を設定する。</p> <p>○各学年の系統性を生かした指導をする。</p> <p>○いろいろな問題に取り組めるように計画的に朝自習や家庭学習を充実させる。</p> <p>○算数だけでなく、理科や社会科の学習でもグラフに多く触れさせ、気付きを発表させる。</p>
児童 生徒 質問 紙	<p>○規律ある態度では「登校時刻を守る」が県と市を唯一上回った。</p>	<p>○勉強は大切だと感じているものの楽しくない、好きではないと答えた児童が15%いる。</p> <p>○「登校時刻を守る」以外は全て県、市の達成率を下回った。</p> <p>○特に「あいさつ」「掃除・美化活動」については大きく下回った。それぞれが自己の課題であることを理解しているが、改善しようという行動につながっていない。</p> <p>○自己肯定感が低い。</p>	<p>○自己の課題を理解し、具体的な目標値を定め、目標に向かって努力する姿勢と、できる、頑張れるという自己有用感を高めていく。スモールステップを認め、励まし、伸ばしていく。</p> <p>○わからないところはその場で質問できる学級運営をする。</p> <p>○家庭学習に読書を取り入れるなど、読書活動の充実を図る。</p> <p>○道徳の授業などを通して、人との接し方や集団生活での協力の必要性を理解させていく。</p>

